

糖尿病内分泌内科研修プログラム

一般目標(GIO=General Instructive Objectives)

代謝・内分泌領域は高血圧症や糖尿病、脂質異常症といった、いわゆる common disease を対象とすることが多いため、内科医として基本的知識の習得が必須となる分野の一つである。これら疾患の病態、検査、治療といった知識を理解し、一般外来や入院患者において適切に対応できることを目標とする。特に、糖尿病を合併した入院患者におけるインスリンによる血糖管理、低血糖症への適切な対応が実践できることを目標とし、また頻度は少ないものの、致命的になりうる内分泌緊急症(糖尿病性ケトアシドーシス、副腎不全、甲状腺クリーゼ)の対応について理解をすることを目標とする。

また、内科入院患者の管理を通して基本的な患者管理を習得する(輸液療法、感染症治療など)を習得することを目標とする。

行動目標(SBOs=Specific Behavioral Objectives)

1. 代謝・内分泌疾患患者の病歴・身体所見の把握と記載ができる。
特に糖尿病患者においては「糖尿病治療ガイド」に沿った病歴聴取ができ、患者の病態や生活の問題点についても言及できうるカルテ記載ができることを目標とする。
2. 代謝疾患患者の病態を把握するための適切な検査がオーダーでき、結果の解釈ができる。
特に糖尿病患者においては糖尿病の成因(発症機序)と病態(病期)の概念を理解し、説明ができることを目標とする。
3. 内分泌疾患患者の病態を把握するための適切な検査がオーダーでき、結果の解釈ができる。
特に甲状腺疾患において病態の評価を行うことができることを目標とする。
4. 内分泌疾患において負荷試験の適応を判断でき、検査オーダー、結果の解釈ができる
5. 糖尿病を合併した入院患者におけるインスリン治療の適応を判断し、インスリン管理が行える。
6. 糖尿病患者のインスリン以外の薬物について作用・副作用を理解し、治療方針決定の議論に参加できる。
7. 糖尿病患者の細小血管障害、大血管障害を理解し、これら进行评估するための検査オーダー、結果の解釈ができる。
8. 低血糖症に対し、病態を把握したうえで適切な対応ができる。
9. シックデイを理解し、適切な対応と患者指導を行うことができる。

研修方略(LS=Learning Strategies)

1. 病棟業務

指導医、上級医の指導の下に 5～10 名程度の患者の担当医となり、入院患者の問診、身体所見の把握、それに伴った検査計画、治療方針の立案を行うことで代謝・内分泌疾患の基礎知識と基本的手技、治療法を習得する。

2. カンファレンス、勉強会

① 糖尿病内分泌内科カンファレンス(毎週金曜日 14:00～15:00)

受け持ち患者に対してフルプレゼンテーションを行い、チーム内での患者の情報共有を行うとともにそれに基づき治療方針の決定に関わる。その過程でプレゼンテーション技術の向上とともに、症例を通して疾患の理解を深め、知識を習得する。

② 病棟モーニングカンファレンス(毎週火曜日 8:30～8:50)

受け持ち患者に対して病棟内で最低限共有すべき事項(疾患、治療方針、今後の見通し)について簡潔にプレゼンテーションを行うことで基本的事項の確認を行うとともに、状況に応じたプレゼンテーション能力を習得する。

③ 内科合同カンファレンス(毎週金曜日 16:45～)

上級医による英文抄読会により幅広い知識を習得し、またローテーション中の内科各科の代表症例を学会形式で発表することにより、疾患の理解を深め、また学会でも発表できるプレゼンテーション能力を習得する。

評価(EV=Evaluation)

1. 自己評価

EPOC および症例レポート、自己評価表を用いて自己評価を行う。

2. 指導医による評価

EPOC および症例レポートを用いて評価を行う。

3. コメディカル(看護師・技師)による評価

EPOC および評価表を用いて評価を行う。

4. 研修医による評価

EPOC および評価表を用いて診療科全体(指導内容、研修環境)、プログラム内容を評価する。

糖尿病内分泌内科週間予定

	月	火	水	木	金
午前	8:30 申し送り 緊急&予定入院対応 病棟業務	8:30 病棟カンファ 緊急&予定入院対応 病棟業務	8:30 申し送り 緊急&予定入院対応 病棟業務	8:30 MSW カンファ 緊急&予定入院対応 病棟業務	8:30 申し送り 緊急&予定入院対応 病棟業務
午後	緊急&予定入院対応 病棟業務	緊急&予定入院対応 病棟業務	緊急&予定入院対応 病棟業務	緊急&予定入院対応 病棟業務	14:00～ DM カンファ 16:45～ 内科カンファ